

卓 球

- 1 主 催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
2 後 援 長崎県（公財）長崎県体育協会 諫早市 諫早市教育委員会
長崎県卓球連盟 諫早市卓球協会
3 主 管 長崎県高等学校体育連盟卓球競技専門部
4 期 日 平成30年6月2日（土）・3日（日）・4日（月）・5日（火）
開始時刻 9時30分
5 会 場 諫早市中央体育館
6 参加資格 大会実施要項による。
7 参加申込 大会実施要項による。
8 競技方法 (1) 大会実施要項による。
(2) シード校

- ① 学校対抗……長崎県高等学校新人体育大会のベスト8をシードする。
② 個人……長崎県高等学校新人体育大会等の結果を参考資料とする。
(3) 試合は11点ゲーム、5ゲームスマッチで3ゲーム先取で勝敗を決める。
(4) 学校対抗戦の勝敗は4～6名による1複4単の5試合の3点先取で決する。
(5) 試合は次の順序とする。

(但し、ダブルスは1番と2番では組むことができない。)

順序	1	2	3	4	5
	S	S	D	S	S

- 9 参加制限 (1) 学校対抗戦トーナメント方式で行う。
(選手は4～7名以内とする。)
(2) 個人戦
① 複・単ともにトーナメント方式で行う。
② ダブルス
・各学校2組（ただし学校対抗に出場しない学校は1組）
・平成29年度長崎県高等学校新人体育大会でダブルスの出場権数は男女共ベスト8とする。
ベスト4になった組はシードする。残り4組は各学校の出場枠数に加算する。
③ シングルス 各学校7名（ただし学校対抗に出場しない学校は2名）
・平成29年度長崎県高等学校新人体育大会でシングルの出場権数は男女共ベスト32とする。
ベスト8になった選手はシードする。残り24人は各学校の出場枠数に加算する。
(3) 外国人留学生について
全国高体連卓球専門部内規（4）外国籍選手の大会出場制限による。
- 10 競技規則 (1) 現行日本卓球ルールによる。
(2) ゼッケンを背に必ずつけること。
(3) 観客に不快感を与えたり、相手選手をいらだたせるような行為或いはボール・テーブル・ネット・フェンスなどの器具を乱暴に扱うような行為、または決められた休息时间以外（ゲーム中）にアドバイスした場合は、いずれもバッドマナーとしてペナルティーの対象となる。
(4) 団体戦でベンチ入りする監督は校長が認める指導者で、監督章のワッペンを付け、登録した者に限る。（ベンチに入る選手は、ユニホームの色を揃えること。）
(5) ベンチに入れるのは、団体戦の時の監督1名、選手7名だけで、その他の者は全て観覧席から応援すること。なお、観覧席からのアドバイスやサインも厳禁する。
(6) 団体戦では、進行上、複数の台を使用することもありうる。
(7) 個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
① アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーされた監督・選手に限る。
② アドバイザー（1名）は、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。他のコートでアドバイスしていた場合には試合中にベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
(8) タイムアウト制は学校対抗の準決勝より採用する。個人戦は採用しない。
- 11 表彰 大会実施要項による。
12 抽選会 大会実施要項による。
13 その他 (1) 団体戦の1位は全国高等学校総合体育大会並びに、全九州高等学校総合体育大会の出場権を得る。また、団体戦の2位は全九州高等学校総合体育大会の出場権を得る。
(2) 個人戦、単の上位4名及び複の上位2組は、全国高等学校総合体育大会、単の上位5名及び複の上位4組は、全九州高等学校総合体育大会の出場権を得る。
(3) 個人戦の組み合わせは専門委員会で行う。
(4) 使用球は、日本卓球協会公認硬球とし、40mmのプラスチック球とする。
(5) 会場や観客席を汚さないよう、各校、責任をもって処理すること。